

# 広報 12月号 ながはま



米消費拡大のための青年団によるモチツキ大会

## まつりでつなごう心と心

### 第9回生活文化祭開かれる

明るく  
豊かな心を

「祭りをつなごう心と心」をテーマに、第九回生活文化祭が十一月五日から七日まで町体育館で開かれました。

幼稚園や保育所などの幼児が工夫して作った工作や絵画、小・中学生の書、絵画、丹精こめてつくられた菊、手芸、生花、盆栽、写真などの知恵や趣味を生かした作品、町民の健康状態をパネルやグラフを通して考えてみようという健康コーナー、米の消費拡大をねらった米の重量あてコーナーなどが設けられ、多くの人達でにぎわいました。

七日の最終日には、婦人会によるみかん、やさしいなどを即売する青空市や、うどん、ぜんざい、すしなどのバザー、また、青年団の手によって映画会や米消費拡大を目的としたもちつき大会も開かれました。

明るく豊かな心を養う文化祭が年々にぎやかに、また多くの参加者を得て、住民の心と心をつないで活気のある町づくり役に立って欲しいものです。

第3回定例議会

議会

第3回定例会



長浜町議会第三回定例会が、十月十九日から二十一日までの三日間の会期で開かれました。

今回上程され審議されたのは、条例の一部改正案、一般会計補正予算など町提出の議案六件、陳情文書など議会からの報告案件三件。議案はいずれも原案通り可決、報告案件はいずれも受理採択されました。

また、議案審議を前に一般質問が行なわれました。可決されたこと、受理採択されたこと、一般質問のおもなものは次の通り。

大谷口道路工事費など

一般会計

今年度一般会計に今回三億四百三十八万七千円が補正され、予算総額は三十九億百六十四万六千円となりました。

今回補正された予算のおもな使いみちは次の通り。

【総務費】 沖浦広場施設整備、総合エネルギー基地建設用地造成基本計画図など委託料などあわせて六百三十八万五千円。

【民生費】 大谷口道路工事請負費、補償費、委託料などあわせて一億七千七百七十七円。

【衛生費】 高額療養費の貸付金二百五十万円、結核予防検診などの

円。大越線ほか四十四件の工事請負費四千二百五十一万八千円。

成人病予防対策事業など

国民健康保険特別会計

今年度国民健康保険特別会計に一千九百二十三万四千円が補正され、予算総額は七億二千九百七十七万三千円となりました。今回補正されたおもなものは次の通り。付添看護料が予測していた受給件数を上まわったための療養費三百二十五万九千円。成人病予防対策事業に必要な経費四十四万円。

出海簡水操作線の修繕費など

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計に三百四十四万円を補正し、予算総額は四千二百九十七万七千円となりました。補正されたおもなものは次の通り。

【土木費】 町道大平線ほかの工事請負費および原材料費あわせて八百万円。

【教育費】 大和小屋内体育館の内装費。青少年スポーツ奨励費および全国青年大会バスケット選手出場補助あわせて五十万円。

【災害復旧費】 池田農地ほかの工事請負費など。無事喜地農道ほか二十七件の工事請負費三千三百万円。大越線ほか四十四件の工事請負費四千二百五十一万八千円。

本支出として、水道事業の抜本的な見直しを行なうための水道基本計画委託料一千八百万円。

陳情二件を受理採択

長浜町青果農業協同組合・組合長理事一宮泰忠氏から提出された「オレング、果汁、牛肉など輸入自由化、枠拡大阻止について」▽長浜町森林組合・組合長理事徳山廣見氏、専務理事小西考夫氏から提出されていた「優良材生産基金整備事業助成について（枝打事業）」の陳情文書はいずれも受理採択され、ただちに町理事者に送付して、その主旨に沿うよう善処を求めることになりました。

監査委員に

二宮英二氏

山本薫氏が昭和五十七年十月二十一日付けで議会議員選出の長浜町監査委員を退職したに伴い、町長は後任委員に二宮英二氏（西丸）を選任、議会の同意を求めた結果、原案通り同氏が後任に決まりました。

条例の一部改正

災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例の一部が改正されました。災害弔慰金の額や、災害援護資金の限度額が改正されたほか、新たに自然災害により精神または身体に重度の障害を受けた者に対して災害障害児見舞金が支給されることになりました。

一般質問

今回の議会では、山本薫議員、浦田定議員、中野茂明議員、津田龍雄議員、和田永吉議員が質問を行ないました。

港湾整備を中心

二次開発の現況と取り組み方

山本議員：昨年十二月に議決された二次開発の基本構想について、国や県に働きかけをして計画についての模索を検討されていると聞いているが、その進捗よく状況あるいは基本計画の策定について教えていただきたい。

伊方原発三号機増設に伴い、搬出する土石の一部を長浜町の埋め立て用に分譲する旨の報道がなされているが、この土石でどれだけの埋め立てができるのか。五十九年から六十年度にこれらの受け入れの対応が可能なのか。

二宮町長：国及び県の関係機関と本構想を進めるための調査、研究、協議などを重ね、関係企業とは非公式ながら接触してきた。国、県との協議や調査は、主として港湾整備と漁港関係の地形図及び配置図を中心に詰めている。

しかし、エネルギー関係の企業誘致は、深刻な時代であり、思うように進展していないが、西田先生の力を借りて接触しており、私も懸命に努力を続けたい。

地場産業である製材、木工業などの臨海部への移転立地は、調査の結果、条件次第で可能なようである。現在収集している資料をもとに、

水道事業会計

収益的支出として漏水修理に必要な経費百九十五万円を補正。資

# 議長に大本氏、副は和田氏

長浜町議会の第二十三代議長に大本春明氏(六一・豊茂)、副議長に和田永吉氏(五一・出海)が選ばれました。

この人事は、議会最終日二十一日の本会議で菊地満男氏が議長職を、西宮正幸氏が副議長の職を一身上の都合によりそれぞれ辞任したい旨を届け出たため、これを承認して新しい議長、副議長の選任が行われた結果、両氏が選ばれたもの。選任は自治法に基づき指名推選で行なわれ、両氏とも万場一致の同意を得て決まりました。

また、議長と副議長が変わったことにより、同日、各委員会などの構成替えも行なわれ、左表の通り

長浜町議会構成表

	○委員長・会長	○副委員長
議員会	浦田 定徳	津田 龍雄
議会運営委員	◎城戸 義徳	津田 龍雄
常任総務	◎西宮 義徳	◎東 正行
文教厚生	◎東山 正行	◎小川 儀三
産業建設	◎津田 龍正	◎中野 茂政
地域開発事業特別委員	◎菊地 満男	◎宮本 英二
監査委員	二宮 英二	
大洲・喜多衛生事務組合議員	大本 春明	浦田 定
八幡・大洲・大市・大地区広域組合議員	大本 春明	和田 永吉
大洲市・喜多郡・長浜町外4か町村組合議員	大本 春明	
住宅入居者委員	小川 儀三	◎宮本 英二
選考委員	◎城戸 義徳	◎東 正行
都市計画審議	二宮 英二	和田 永吉

りとなりました。



【大本議長略歴】大正十年生まれ。農業。町議四回当選。副議長一回。文教厚生常任委員長。産業建設常任委員長。町監査委員。(現)町土地改良区理事。



【和田副議長略歴】昭和六年生まれ。農業。町議二回当選。地域開発事業特別副委員長。総務常任副委員長。(現)町森林組合理事。

国、県との調査研究、指導をいただくための接触を強くし、電力、LPG関係の企業誘致に全力を傾注したい。

伊方三号機の土石受け入れの問題については、今後慎重に検討して進めるよう考えている。

## 特殊改良一種を取り入れて予算拡大を

小浦沖浦間の線型

山本議員：県道長浜中村線の改良整備促進については、強く関係機関へ陳情、要望しているが、県単によるものであればあまりにも長期間の工事になり、特に小浦沖浦間は大型車の通行がむづかしく、交通停滞の大きな原因となっている。長浜中村線全体の改良方針と、小浦、沖浦を経て国道三七八号線への取りつけ線型の計画について町長の考えを伺いたい。

二宮町長：現在は県単改良ということで進めているが、予算が非常に少なく、延長が進まないのが実態である。

今後の事業の進め方として、県単でなく特殊改良一種を取り入れて予算の拡大を図っていかねば、国道三七八号線に接続できないのではないかと考えて、強い要望を続けている。

## 地元の意見を慎重に聞いて

国道三七八号の漁港部の線型

山本議員：国道三七八号線にお

ける須沢、櫛生、出海、特に漁港付近の改良がどのようになるのか、地元関係者の関心の的になっており、現在、町ではどの辺まで県と協議されているのか。

県との協議がなされていないのであれば、早急に協議され、来年度当初には発表できるよう進めていただきたいが、どのように考えているか。

## 漁協と相談しながら実施を

大型魚礁と投石

二宮町長：漁港をどう通るかということについては、専門的な知識や調査が必要であり、なお地元の見解も慎重に聞かなければならないなどの問題もあり、方針は決まっていない。

## 重要路線として延長を

県道櫛生大洲線の早期延長

山本議員：県道櫛生大洲線は昭和三十三年着工以来二十五年近い歳月が経過しているが、整備が進んでいない。この路線は生活産業基盤として、地域と地域を結ぶたいへん重要な道路であり、沿線住民は早期完成を願っている。本路線の改良整備が早急にされるよう県に対し働きかけをお願いしたい。県の状況と今後の取り組み方について伺いたい。

## 局部改良事業で整備を

出海漁港整備

二宮町長：この路線については重要路線として将来延長していくというように変わりはなく、県の方へも強く要望している。

浦田議員：漁港問題については、地元の意見を取り入れてもらわなければならないと思う。工事は海のしけのないうちに着工し、完成させないといけないと思うが、出海の漁港整備についてどのように考えているか。

今後改良を進めていく場合、線型によっては立ちのきなどの問題も起こる可能性があり、地元的全面的な協力が必要になるので、よろしく願いたい。

二宮町長：この必要性については十分認識しており、漁協と相談しながら継続して実施して参りたい。早期実施について県へも要請している。

二宮町長：漁港整備については町の行政の中で重要な課題として取り組んでおり、緊急度の高い

ものを第七次漁港整備計画として計上しているが、出海漁港については、局部改良事業で二億円認定されている。

本年度東防波堤横に防砂堤を四十、六十年度以降に北防波堤に消波工事を約百五十万整備するよう計画している。

補助事業については、指令を受けた後着工するのが原則であり、早期着工について県に強く要請している。



局部改良事業で整備される出海漁港

### 実情を把握して 対処を

〔原発設置のヒヤリング〕

中野議員：通産省が原発設置について地元住民の理解を得る目的で、公開ヒヤリングを十一月十八日に開催することを発表しているが、この件について本町との折衝はあったのか。

肉眼でもよく見えるところに位置する長浜町が、意見陳述のできる隣々接市町村になぜ含まれていないのか。長浜町の大多数の者、

特に海岸線に居住する者は、放射能もれ事故などを心配しており、関係機関に筋を通して話をしななければいけないと思うが、この件に対して特別の配慮を賜りたい。

二宮町長：ヒヤリングについての呼びかけは何もない。

意見陳述人の資格の件については、通産省が行なうものであり、その範囲の設定についての事情は把握していないが、伊方町を拠点に行政および生活圏が直接関係の深い地域に限定しているようである。

伊方原発の場合、当町にとっては距離的にもたいへん近く、重要なことであるので、実情の把握を行ない、要望すべきことは要望し必要な対処をして参りたい。

### 連携を深め問題 の解決を

〔長浜高校の生徒減少問題〕

中野議員：長浜高校の卒業生は昭和四十年に二百三十一人いたものが、昭和五十九年度には九十三人に減るようである。どこの地区でも減少傾向であり、来年度入学定員を割るようなことが続けば、二学級編成になることは火をみるより明らかである。定員割れをおこす原因は、親子共に長浜高校に対して偏見の目を持っていること、町と高校との協調がうまくいっていないといったことだと思

う。長浜高校においても、地域社会と一体となり、地域の方々に愛され期待される高校の確立をめざしている。

諸問題の改善をめざして、町行

政機関と小、中、高の学校、町連合PTAが集まり、長浜高校教育懇談会が開催された。今後この会を開いて、地域総合教育のために発展するよう、また、長浜高校の育成と適切な指導、ご援助をよろしく願いたい。

日田教育長：生徒数の減少については常々心を痛めているところであり、この問題の対策を協議するため長浜高校教育懇談会を開催したが、一朝一夕で結論がでるものではなく、高校の学力レベルアップ、校外生活指導の強化など高側側の努力を期待する意見もできおり、懇談会を今後二回程度開催し、連携を深め問題の解決を図りたい。

町としては、臨海工業開発を推進し、地元優先の安定した職場の確保、安価な住宅供給を図り、卒業者が地元で定着することを考えている。

### 開発とあわせて 検討を

〔長浜の観光〕

中野議員：本町観光の目玉である白滝公園も、本番近しと地元の関係者は受け入れ準備を整えているが、戒川道路より滝の山頂付近に道路を新設し、老人や子供が楽しく見物できるように願いたい。

住吉公園の裏山に、ライオンズクラブの手によって桜の植樹が行なわれているが、桜を眺めようにも道がないので、町民の憩いの場として遊歩道を新設していただきたい。

長浜町は有数な釣り場であるが、沖浦から出海にかけての岩場は危険な所が多く、岩場における小道の整備や橋をかけるなどして、釣り公園を設置していただきたい。

二宮町長：観光事業の全体的な構想は開発とあわせて検討中であり、計画立案の中で配慮したい。白滝の道路については、今後十分検討、調査をさせていただきます。

住吉公園の立地条件は、たいへん急しゅんな地形で、崩壊しやすいところであり、新しい遊歩道の新設はなかなかつかしく、現在の歩道を計画的に整備していくことで検討したい。

ライオンズクラブが植樹をしているところは、私有地であるのでご理解いただきたい。釣り公園を長浜の海岸全域にわたって施設することは、経費や維持管理の面で問題もあり、十分検討させていただきます。

### 公営住宅は五十 八年度事業で

〔今坊地区の地域改善事業〕

津田議員：今坊地区では、漁港が今年度から地域改善事業に切り替えて工事が進められており、大幅な予算もつけていたが、完成も間近と思われるが、何年度に完成するのか。

また、今坊地区の地域改善対策事業としての道路建設も今議会に予算化されているが、どのような構想で何年度に完成するのか。これにともない住宅、水道も予定さ

れているといわれているが、あわせてお聞かせ願いたい。

二宮町長：喜多漁港については、本年度から七億五千万円の認可を受け、本年度一億八千万円の事業費で臨港道路及び沖防波堤がほぼ完成し、来年度以降北、西防波堤船揚場浅瀬など順次整備を図る計画であり、早期完成に努めている。

道路新設について、国、県をはじめ関係機関と協議を進めて着工できる見通しがつき、五十七年度では国鉄ガード分と道路三百メートルを築きたいと考えている。

将来の構想については、小学校などの公共施設及び周辺地域へも連絡できるようにすれば、消防、防災、救急上でも多大の効果が期待でき、地域産業、経済の発展にも大きく寄与できるものと思っている。

公営住宅建設については、昭和五十八年度事業として計画を進めていきたい。水道については、現在の施設を改良することで対応したい。

### 経済性、効率性を 検討して

〔国産材利用状況〕

和田議員：戦後最悪の不況にまわれている林業に対し、育林技術体系の確立、基礎固めが必要であり、町でも問題を重視して、真剣に取り組み、積極的に指導、推進していただいているが、公共事業の設計段階で国産材使用を計画しているのか。しておれば何%くらい見積っているのか。

二宮町長：町における公共建築

議会・一般質問

物の県産木材使用について、豊茂小学校の例ではほとんど使用するという状態である。二次製品も使うので国産材使用率は極めて高いと思う。今後も経済性、効率性など十分検討して、県産木材使用増加に留意したい。

時期がくれば 対処を

～森林公園～

和田議員：最近、生活環境の保全や保健、休養の場として森林の重要性が高まっているが、当町は約七割が山であり、白滝公園の上部や壺神山付近、あるいは金山出石寺付近を公園化すれば、人々に精神的な安らぎを与えるなど、生活環境を守り、あわせて観光林業として推進できると思うが、このことについてどのように受けとめているか。

二宮町長：全国既存の森林公園の利用率が利用計画の約一〇〇程度であり、会計検査院の指摘などもあつて新規補助事業は留保する国の方針であるので、時期がくれば対処したい。

実態調査をして 対処を

～保安林の見直し～

和田議員：森林資源により保全機能が保たれてきた保安林が、完全に失われ、荒廃化してきている。町内の保安林面積は約二百畝程あるが、植え付け保安林を除いて、他の保安林を放置することにより

保全機能を損失し、災害をまねく恐れがあると考えられるが、再度点検し、危険な箇所、復旧を必要とする箇所などについて保安林改良事業と関連させて早急な復旧はできないか。

二宮町長：県にお願ひして決定をみているものもあり、現在希望のあるものもあるが、今後も県及び森林組合の協力を得て実態調査を行ない、対処したい。

緊急度の高いところから整備を

～部落間の連絡道路～

和田議員：道路は産業経済発展の基盤であり、過疎防止とあわせて農林業振興上からも重要な機能をもっており、町内隣接部落との連絡道路は整理されていないようであるが、どのような計画で整備していくのか。

二宮町長：町内の生活道についてはかなり整備できているが、部落間の連絡道路はまだ未整備のところが残っており、より緊急度の高いところから財政の許す範囲において、より有利な方向で検討し、計画的に整備を図りたい。



晴海団地企業自治会 発足10周年大会開かれる

海東さんから優良従業員を表彰

十月十七日午前十時から晴海の農協加工部で、晴海団地建設ならびに自治会発足十周年記念大会が開かれました。

これは晴海工業団地が建設され、同企業自治会が発足して十周年を迎え、各企業の繁栄と町の振興発展に役立てるために開かれたもので、

西田司前衆議院議員、二宮重憲長浜町長、菊地満男町議会議長らの来賓や会員あわせて約六十人が出席して、優良従業員の表彰も行なわれました。

開発記録映画「新しき道程」を上映したあと、西田先生を講師に迎え、「晴海団地の誕生を顧みて」と題して記念講演が行なわれ、「長浜町にとつては第一次開発は貴重な体験であり、これを生かして今後の開発を進めていかなければならない」ということで結びました。



晴海団地企業自治会10周年

第二十四回人権週間

十二月四日～十日

お互いに相手の立場を

豊かな人間関係を

をつくらう

十二月四日から十日までの一週間は、人権週間です。人権週間は、国民一人ひとりが「人権」というものを再認識し、また、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省してみる週間です。

私たちは、豊かな日常生活を営むために、お互いの立場を尊重しあうよう日ごろから心がけたいも

のです。

今年の人権週間は、「人権の共存」互いに相手の立場を豊かな人間関係をつくらう」「部落差別をなくそう」「婦人の地位を高めよう」「障害者の完全参加と平等を実現しよう」の四項目を強調事項としています。

「離婚、扶養など家庭内のトラブル」「隣近所とのもめごと」「不当な差別」など、このようなこと人権を侵されたり、侵されそうになった方は、お近くの人権擁護委員が、法務局またはその支局へご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

人権擁護委員に

三たび

平田、土居氏

十月十五日付で法務大臣から出海の平田三盛さんと柴の土居孝童さんが当町の人権擁護委員に委嘱されました。任期は三年。

皆さんが不当な差別やいやがらせなどの人権侵害を受けたり、結婚、離婚、扶養、相続などの家庭内や、騒音、振動、悪臭などによる隣近所とのもめごと、借地、借家問題などで困っている場合に、人権擁護委員が相談に乗ってくれますから、ご遠慮なくご相談ください。

あと一人は長浜の熊野熊雄さん。



### 愛護班活動と ふれ合い



班長 愛護班 和夫 中 海  
協議会 出 煙 (45歳・出海)

「コミュニティ」という言葉は何か耳新しいようで、「ことば」の意味からすれば古くからあることですが、私達のまわりを見た時に、ふれ合いの場はいたるるところであって、その一つ一つのふれ合いを大切にしておくことにより、大きいふれ合いの場となっていくのではないのでしょうか。

私達愛護班「杉の子」も「ふれ合いを大切に」をモットーに青少年の健全育成、社会教育への協働、話し合い学習の充実などに心がけています。

杉の子会の年間行事も数多くありますが、会員の方々にいえることは、共同協働性豊かなことです。これも、みんなが一つ一つのふれ合いを大切に思っているからで、その事が家庭での親子のふれ合い、夫婦、しゅうとめのふれ合いにもなっていると思います。

ここ近年の青少年の非行増加、校内暴力など低年齢化などを聞くにつけ、社会環境の悪影響、政治うんぬん：これも一因でしょうか。大切な心のふれ合い、心でぶつかつてゆくことを忘れがちではないでしょうか。長い人生の間には、色々なふれ合いがあります。子供

たちにそのふれ合いの大切さを身を持って教えることが、大人へと成長してゆく過程で重要なことだと思えます。杉の子会にあってもそれを考えあわせ、定期的な映画会(良い映画を観る会)、年二回「すぎの子」文集発行、夏のキャンプ、体力と根気を養うスポーツなどを行ない、親子、地域との絆(きずな)、ふれ合いを深めています。ただ残念なことは男性の参加が少ないことです。これも現在の出海における農家経済などを考えたとき、仕方ないことかも知れません。



杉の子会での話し合い学習を重ねていく中から出海地区の連帯を深め、地区民総ぐるみによる活動が必要ではないでしょうか。ふれ合いの場を大きくしようと生まれたのが出海地区愛護班連絡協議会です。

七月二十六日の結成式で、今後の愛護班のあり方、活動方針、規約審議、役員選出などの決定を行ない活動に入っています。夏季節の夜間パトロール、これは非行防止とともに青少年の現代感覚を知り、ふれ合いにも役立っているのではないかと思っています。地方の伝統行事の伝承をと思い、奉納宮相撲を二十年ぶりに復活させて

老若男女を問わず、たいへん喜ばれました。子供たちに地方地方の特性を生かした伝統行事を教えることは必要であると思えます。運動会、盆踊りなどの積極的参加、愛護班だよりの発行などによって、ふれ合いと特徴をもった愛護班活動をと心一つにして一同張り切っています。

私がいつも寂しく思うのは、地元を根をおろす若い人達が少ないことです。現在、農家にいるのは中高年齢の方々が大半を占めているのではないのでしょうか。町内の青年団活動を見聞きするのにも、「人が少ないから本場の活動ができない」という言葉を耳にしますが、本場の運動とは数に左右されるものではないか。若い人達は、これからのリーダーとなるために、もっと真剣に取り組んでゆく姿がほしいと思います。

これからの私達愛護班・杉の子会においても青年団との交流を深め、子供会育成、社会教育などに若い人達との話し合い学習の中からすばらしいものを見い出せると思ひ、このように会をもつていこうと考えています。

また、愛護班のもつ役割の意味、必要性の意識が地区住民の中にはまだまだ薄いように思うこともあり、今後はこの点を考えた活動が是非必要だと思ひます。

町内他地区の方々も、現在の青少年健全育成につとめておられることと思います。是非ご意見をお聞かせください。皆さんのご活躍をお祈りいたします。



結露に澄んだ空に吸い込まれ  
そんな季節。子供たちは、自然

の中で好きな遊びをみつけ熱中する。こんな日は、園外保育にみんなでお出かけ。菊の花や、柿の実を目にしなが、稲木にかかっているギンギラギンが気になる。「あれ、なあーに」「すずめのおどしよ」「ふーん、かかしがおらん」と言葉をおろしながら、かかしが「とつて乳児は「とつて欲しいなあ」という顔つきになつていて。そうして歩いて行くうちに目的地の田んぼに着く。力一杯かけっこをする子。座り込んでだんご作り



自然の中でのびのびと遊ぶ子供たち

り、顔を靴は泥だらけになつて、赤ちゃん蛙との追いかけてこに興じる子。広い空間の中で行動できた子供たちは、それぞれに、満足そうな顔をしている。あるときは、近くの神社へも出かける。境内の大銀杏の落葉を両手に一杯つかんで、ふり散らしてはしやぎ、葉

の上を踏んで喜び、水に浮かべたりして、次から次へと遊びをみつけれ楽しんでる。また、雨上がりともなれば、一番人気のあるのが、園庭の水たまりである。だれかれとなく靴を脱ぎはじめ、そのうち足をつつ込み、タップダンス式の足踏み、ダイナミックな滑り込み、滑り台からの飛び込み技まで、表情豊かな行動がみられる。自分の靴を船にして浮かばせてみたり、セメント塗りに集中して動こうとしないのんびり屋もいる。体を存分に動かすこのうれしきで、顔や服に散る泥水など、いっとうにおかまいなしである。食欲の秋である。二三才児の食事中も、けっこう面白い。話に夢中になり、おこぼしの多い子供たちで、足の裏は、ベタリベタリ糊作りをしている。山あり、川あり、海ありの素晴らしい土地に生まれた出海の子供たち。自然に触れて遊ぶこと、遊びを工夫することによって、豊かな心が育つてくれることを信じて。これからも、子供たちと共に、季節を生かした楽しい活動をしていきたいと思います。(出海保育所保育・児玉智代)

### 応急手当の知識

## やけど

つまづいて、ストーブにかけていたヤカンを落とした。フライパンの油がはねた。熱いアイロンに触れてしまった。わたしたちの周りにはやけどの危険でいっぱいです。特に冬場は火を使う機会が増え、やけどをすることが多くなります。十分注意しましょう。

### 「やけどの手当て」

もし、やけどしてしまつたら落ち着いて次の手当てを。

#### ①冷やす

まず、やけどの部分の水で冷やしましょう。洗面器などにためた

水にひたしたり、蛇口から流れる水で冷やします。ただし、蛇口の水を使うときは直接やけどの部分に当てず、一度、やけどの近くにかけて水を伝わせます。水の勢いで皮膚が破れることもあるからです。

服の上から湯を浴びたようなどは、そのまま水をかけて冷やしましょう。やけどの部分を出そうとシャツをまくり上げたり、無理に服を脱がすと、熱で弱くなった皮膚がむけたり、水泡がつぶれたりします。

②ガーゼなどで保護を  
痛みがなくなるまで冷やしたら、ガーゼやケバ立たない布を当てて保護します。

③よく観察しておく  
水で冷やしているとき、やけどの箇所をよく観察しておきましょう。やけどの程度には、第一度から第三度まで次のような目安があります。

第一度：赤くなってヒリヒリ痛む。第二度：水泡ができ、はれぼったく強い痛みがある。第三度：乾いていて、灰白色の部分と焼け

服の上からのやけどでは、皮膚に刺激を与えないよう、シャツやズボンに切りさいてやけどの箇所を出します。

やけどに、化繊の服やビニールなどが溶けてこびりついているときは、はがさずに、その上からガーゼを当てます。

③よく観察しておく  
水で冷やしているとき、やけどの箇所をよく観察しておきましょう。やけどの程度には、第一度から第三度まで次のような目安があります。

第一度：赤くなってヒリヒリ痛む。第二度：水泡ができ、はれぼったく強い痛みがある。第三度：乾いていて、灰白色の部分と焼け

冬になり、寒い日は窓や戸を開め切った生活が多くなります。しかし、冬の日にもきれいな空気を吸い、十分な酸素を体の中にとり入れるためには、日常生活の場で一時間に一回は窓を開けて換気をしたいものです。まして喫煙者のいる部屋ではなおさら、換気が大切です。

喫煙のためにニコチンや二酸化炭素が体内にはいり込むことや、肺がんやこう頭がんを始め種々のがん発生の要因になることはご存知の通りです。しかもタバコの煙は直接喫煙者のみでなく、そばにいる人たちにも汚れた空気を



かもしタバコの煙は直接喫煙者のみでなく、そばにいる人たちにも汚れた空気を

## 一時間に一回は換気を

### 五日間禁煙法

- ①ニコチンを体外に出すため果物を主とした食事をとる。
- ②大きなコップで一日八〜十杯の水を飲む。起きがけも一〜二杯。
- ③時折り（煙草を吸いたくなつた時）戸外で深呼吸を三度する。
- ④「私は煙草を吸わないようにしよう」と自分の意志を口に出し

- ①軽い散歩と冷水摩擦を始める。
- ②喫煙する友人は招かないこと。
- ③深呼吸の重要性を忘れないこと。
- ④食事ですすむが過食をしないこと。

へるすあい(ヘルスアイ)とは「健康の目」

こげた部分とがある。痛みはほとんど感じられない。やけどがひどいとき、また軽くても範囲が広いときは必ず医師の治療を受けましょう。

## 地域において

### 看護力を生かそう

### 潜在看護力活用講習会

愛媛県では、看護婦などの免許をもつていて、現在就業していない人を対象に次の日程で講習会を開催します。

新しい看護の知識と技術を習得して、医療機関や地域において看護力を生かしていただきたく、受講をおすすめします。

講習会終了後、希望者はナースバンクに登録し、病院、診療所などへ就職のあっせんを行います。受講希望者は、次の要領で申し込みをしてください。

〔開催日時〕昭和五十七年十二月一日から十二月十一日まで（日曜日を除く）毎日午前十時から午後四時まで

〔会場〕松山市文京町一 松山赤十字看護専門学校（松山赤十字病院内）

〔受講対象〕保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦の免許をもつていて、現在就業していない人で年齢五十歳未満の人。

〔受講料〕五十人（受講料）無料

〔申込方法〕はがきに住所、氏名、生年月日、免許種別、電話番号を記入し、十一月二十日までに申し

昭和57年度  
差別をなくす強調月間  
昭和57年11月11日～12月10日

県民の総意で  
解決しよう同和問題  
(主催) 愛媛県・愛媛県教育委員会

## 老人看護についての電話相談を開設

愛媛看護協会では、県の委託を受けて、老人看護についての電話相談に応ずることになりました。お気軽にご相談ください。

〔電話相談に応ずる内容〕  
○痴呆老人を抱えて看護している家族  
○疾患をもつ老人及びその家族

〔相談に応ずる日と時間〕  
毎週月曜日から土曜日まで（祝日を除く）の午前十時から午後四時まで。ただし、土曜日は正午まで。

〔相談担当者〕 保健婦  
〔相談を受ける電話〕 〇八九九一  
二三一一二八七

込んでください。  
〔申込先〕 千七九〇 松山市一番町四丁目四十二 愛媛県保健環境部総務医事課 ☎412111

### 一般電話開通

青島

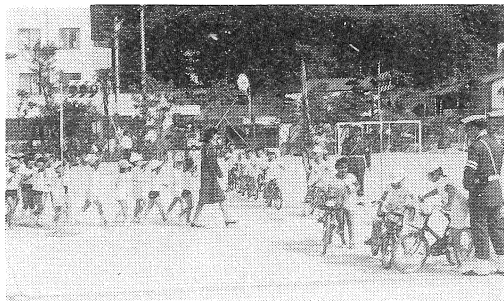


昨年六月から青島に進めていた一般加入電話架設工事がこのほど完了。十月二十から普通通話ができるようになり、門田助役と青島の伊藤仙三郎さんが記念通話を行った。今回申し込みがあったのは四十七世帯で、長年の期待がかない、住民一同喜んでいる。

### 交通安全教室

長浜小学校

十月十五日、長浜小学校で交通安全教室が開かれた。大洲警察署、長浜警察官派出所、安全協会から参加していただき、ゲーム（人形）を使っての事故や信号機を設置して、自転車の正しい乗り方などに学んだ。みんなが交通安全ルを守って、町内から事故をなくしたいものです。



### 稲刈り体験

～消費者・生産者交流会～

米作農家の主婦と消費者側の主婦との「稲刈り産地婦人交流会」が十月二十四日、今坊日ノ浦地区で開かれた。これは町と米消費拡大推進連絡協議会が、改正された食糧管理法について一般の消費者に知ってもらおうと開いたもので、長浜婦人会の会員ら約二十人が参加して稲刈りをして交流した。

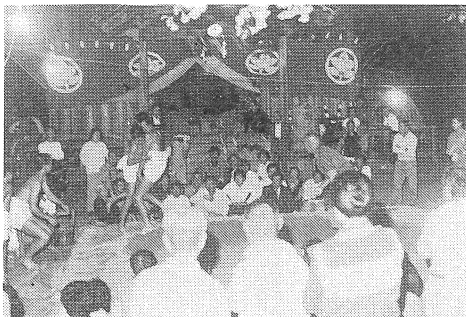


米作農家の主婦と消費者側の主婦との「稲刈り産地婦人交流会」が十月二十四日、今坊日ノ浦地区で開かれた。これは町と米消費拡大推進連絡協議会が、改正された食糧管理法について一般の消費者に知ってもらおうと開いたもので、長浜婦人会の会員ら約二十人が参加して稲刈りをして交流した。

### 奉納相撲復活

出海神社

出海神社秋祭りの青宮奉納相撲が二十年ぶりに復活し、十月十八日夕方、同神社境内の特設土俵で豆力士の熱いこもった対戦が続いた。これは、畑中和夫さんらが中心となって復活させたもので、三人抜き、五人抜き、三役相撲などが続き、子供やお年寄りが一緒になって声援をおくった。



出海神社秋祭りの青宮奉納相撲が二十年ぶりに復活し、十月十八日夕方、同神社境内の特設土俵で豆力士の熱いこもった対戦が続いた。これは、畑中和夫さんらが中心となって復活させたもので、三人抜き、五人抜き、三役相撲などが続き、子供やお年寄りが一緒になって声援をおくった。

## 町の歴史 ⑬

一八六七年（慶応三年）徳川慶喜の大政奉還で江戸幕府は亡び、鎌倉幕府から七百年近く続いた武士の政治は終わった。

一八六八年（明治元年）明治天皇のもとで新政府ができ、新しい政治の方針が示された。これによって版籍奉還、廃藩置県、四民平等、斬髪、廃刀など、新しい改革がなされた。明治維新である。

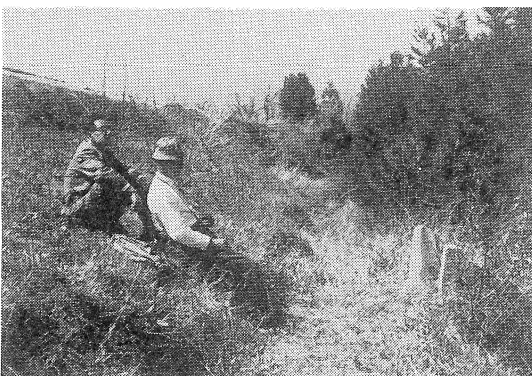
これに対し、士族や農民の間に、新政府に対する不満がもつて、士族の反乱や農民一揆が起こった。大洲騒動もそのひとつである。

一八七一年（明治四年）八月八日、喜多郡の手成、戒ノ川の農民が蓑笠を着け鉄砲、竹槍で身をかためて蜂起した。この時一揆の指導者となったのは加屋村の小西茂三郎、手成村の西村勝三郎、小西角治らであったといわれる。大洲に出る途中、米津、加屋村方面の農民達も合流して五郎まで進出した。さらに方角を異にする五十崎、内ノ子、小田地区の農民もこれらに呼応して、続々と若宮河原に集合した。この一揆に参加した範囲は大洲県の各地区にわたり、全県に及ぶ大規模なもので、四万人に及

んだといわれる。やがて一五か村から嘆願書が提出された。騒動の背景には、藩財政の窮乏と、このしわ寄せを受けた農民の生活難、経済界の混乱による社会不安、藩内の対立、革新政策に対する誤解などがあるが、直接には旧藩主が知事を免ぜられ上京することとなったことにある。藩主を失い、新政府に期待できない不安と動揺がいかに大きかったかがわかる。

戒ノ川の農民が最初にけつ起したことも、同地の歴史の推移を見るとうなずけるものがある。騒動は山本大参事の切腹と旧藩知事の説得で八月十六日に鎮定した。閉鎖的な「領民」像は、地域住民である農民たちのエネルギーによってうち破られたつであったのである。

（長浜町文化財保護審議会委員、久保七郎）



戒川榎谷にある大洲街道と道しるべ（大洲騒動のとき、郡中の農民はこの道を通り、若宮河原へいった）



# 表彰

## 第九回生活文化祭

### 菊町長賞に奥野さん

### 絵画・書 金賞に稲田くんら15人

第九回生活文化祭が十一月五日から七日までの三日間、中央公民館で開催されました。

今年は文化協会発足の年であり、絵画、書、写真、菊花、盆栽などが数多く出品展示され、およそ二千人が鑑賞しました。

展示物のうち菊花、小・中学生の絵画と書は、次の通り入賞が決まりました。

**花**  
【個人】町長賞||奥野義矩  
(大越)▽教育委員長賞||伊藤要私(今坊)▽教育長賞||津田操(今坊)▽中央公民館

## 見舞金の申請手続き 心身障害者

身体障害者手帳あるいは療育手帳の交付を受けて十二月一日現在長浜町に住んでおり、住民登録をしている人には、十二月に見舞金が支給されます。

### 〔支給額〕

- 身体障害者手帳
  - 一級・二級の方…五千円
  - 三級・四級の方…四千円
  - 五級・六級の方…三千円
- 療育手帳
  - Aの方…五千円
  - Bの方…四千円

### 長賞||奥野義矩

(大越)▽佳作 ||池田政治(上

老松久井文子、

奥野義矩(以上

大越)池田政則、

池田クマヨ(以

上大久保)

【団体】金賞||喜多灘小▽銀賞||

長浜中▽銅賞||白滝小

【金賞】小学生||稲田英二

(柴一) 菊地文隆(豊二)

城戸通(柳三) 永井亮(長

四) 久保田忠(白五) 浜上千代子

(長六)▽中学生||萩尾哲也(長

一) 奥野慎二(長二) 川口由理江

(長三) 【銀賞】小学生||新田栄

治(出一) 中嶋章(柴二) 間田勝

(長三) 浜上幸治(長四) 成本真

姫(長五) 谷田功一(長六)▽中

学生||島田健司(長一) 竹内早苗

(長二) 米田照代(長三) 【銅賞】

小学生||泉里佳(長一) 叶本征士

(白二) 清水佳枝(白三) 大野修

平(大四) 大成善啓(白五) 矢野

健(出六)▽中学生||永田美幸(長

一) 木口直樹(出二) 米田千春(出

三) 【佳作】小学生||竹本直子(柳

一) 橋本泰宏(白一) 河内澄栄(柳

二) 徳田明仁(長二) 成橋健也(大

三) 上満昌美(白三) 丸田和美(戒

四) 森川多美子(白四) 村上真太

郎(出五) 川井正美(豊五) 叶本典

子(白六) 中村久次(出六)▽中学

生||米田世輝(出一) 石丸珠美(長

一) 高岡洋子(長二) 山田美恵子

(長二) 藤岡泉(長三) 下坂ゆみ

子(長三)

【金賞】小学生||佐々木健

(豊一) 久保美代(白二)

大成由香里(大三) 平野紀

子(長四) 下坂久美(柳五) 友石

恵美(長六) 【銀賞】小学生||佐

野直紀(白一) 清水みき(柳二)

子(長三)

この見舞金を受けるには定め

られた様式で申請手続きをしな

ければならないことになっています。

詳しいことは役場住民課でおた

ずねください。

この見舞金を受けるには定め

られた様式で申請手続きをしな

ければならないことになっています。

詳しいことは役場住民課でおた

ずねください。

この見舞金を受けるには定め

られた様式で申請手続きをしな

ければならないことになっています。

## 冬期の 踏切事故防止

これからは寒さも増し、年末をひかえ忙しくなりますが、踏切事故を起こさないよう気をつけてください。

例年、寒くなると踏切事故が多くなります。冬期は、自動車の窓を閉めるので、ガラスがくもり、外部の様子もわかりにくく、踏切

での安全確認が悪くなるためです。事故を起こさないために、次の踏切安全通行のルールをぜひ守ってください。

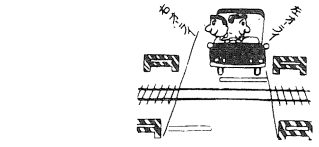
○踏切では必ず一時停止して、左右の安全を確認する。

○踏切警報機が鳴りはじめたら、踏切内に入らない。

○踏切内で、エンジンや落輪をしないよう、自動車の点検、運転取り扱い面で十分注意する。

○踏切内で動けなくなったらと

きは、まず列車をとめる手配をする。



沢田一広(喜三) 谷淵由加里(白四) 大津宝丈(大五) 藤岡邦子(大六) 【銅賞】小学生||政所理絵(柳一) 大野正行(白三) 桑野千恵(柳四) 中川昭和(長五) 叶本典子(白六) 【佳作】小学生||浜田まちな(柳三) 東達也(喜三) 山本豪(豊四) 和田明(長四) 沖永富士(長五) 片山静江(長五) 谷本順子(白六) 池田諭宇子(長六)

## 上田、政所さん

## 長浜幼稚園

## 社会福祉活動に功勞

白滝一二五区の上田ミドリさん(五七)、柳生七八区の政所千勢子さん(五九)と長浜幼稚園はそれぞれ社会福祉活動に功勞があったことに、十月二十日、松山市民会館で開催された第三十回県社会福祉大会の席上、白石春樹愛媛県知事、渡部七郎県社会福祉協議会長、山崎胸一県共同募金会長から表彰されました。

### 〔愛媛県知事表彰〕

▽社会福祉事業施設従事者表彰||上田ミドリ(白滝・57歳)

▽愛媛県社会福祉協議会長表彰||政所千勢子(柳生・59歳)

▽愛媛県共同募金会長表彰||長浜幼稚園

十月十五日、松山市の県青果連で開かれた県園芸大会の席上、園芸功勞者として表彰されました。

## 熊本アナが優秀賞

### 県有放アナウンス コンクール

長浜町有線放送の熊本真弓アナウンサー(三〇)は、十月二十七日に県庁で開かれた昭和五十七年度愛媛県有線放送アナウンスコンクールで「優秀賞」に選ばれ、藤原隆治県有線放送等連絡協議会長から表彰されました。

## 長浜町有放

## 企画番組で入選

### 全国大会へ

昭和五十七年度愛媛県有線放送等番組コンクールに出品した本町有線放送の企画番組が入選、十月二十七日、白石春樹愛媛県知事、藤原隆治県有線放送等連絡協議会長から表彰され、全国大会へ出場することになりました。

## 保母会長賞

## 出海保育所

## 佳作

## 白滝保育所

## 写真コンクール

十月三十日、今治市で開かれた第八回愛媛県保母研修大会で、写真コンクールに出品した出海保育所、白滝保育所の作品がそれぞれ「県保母会会長賞」「佳作」に選ばれ、友松豊子愛媛県保母会会長から表彰されました。

## 畑山鶴夫さん

### 園芸功勞

出海九二区の畑山鶴夫さん(六五)



「今日とてい 明日とていでは流しやる月日にかかる柵(しがらみ)ぞなき、地球の自転公転が早くなる訳ではないが、師走に入ると急流のように日目の流れを早く感じる。一年の生活の総決算が重くのしかかって来るからであろう▲古い人の歌にも同じ思いが読みとれる。樋口一葉の「大つごもり」の場面は今も切なく頭に焼きついて離れないが、現代には現代型の大つごもりがあろう。商家は商家なりに、農家は農家なりに▲また本年度われわれ女性にとって忘れられないのは、フォークランド島奮闘の勝利に輝いた英国首相・サッチャー女史の来日であった。その精力的な無駄のない行動力に注目した。英国の不況を乗り切らんとする意欲があふれていたのである。日本の国力を生み出す心臓部を落とさず見られたことはあっぱれ、鉄の女宰相であると感嘆した。魅力を感じるゆえんであろう。日本庭園の美を誇る古都・京都へは足を伸ばされず、日本が世界に誇るオペラルを陳列するデパートへ、日本のデパートを研究したいと足を伸ばされた。陳列棚(一だな)のオペラルの前に立たれ、女宰相は和やかな女性らしい笑みを浮かべられ、その反面をうかがい知ることができた▲日本も今、大学卒業生の就職難の声をきく。平和を維持する国際対応も至難のとき、経済大国として世界の首脳と肩を並べ得る立派な宰相の出られんことを国民の一人として切望しつつ筆をおく。

○故二宮カネヨさん代理・八幡浜市の尾崎マサコさん：老人ホーム施設整備資金(五十万円)として事務机、椅子、応接セット、ビデオ他を老人ホーム白山園へ。  
○長浜四区の飛土正雄さん(西)：男子卓球選手用ユニフォーム八着を長浜中学校へ。  
○広島銀行伊予長浜支店：卓球台一式(六万七千円)を長浜小学校へ。  
○下須戒九九区の入船好留さん(七)：パンダ、馬(セメント作り)

住所氏名 婚姻届時年齢  
今住 矢野上和雄 (二七)  
生坊 兵頭典子 (二三)



を長浜保育所へ。  
○須沢八五区の水口健さん(廿五)：男子庭球用ユニフォーム八着を長浜中学校へ。

自衛官募集中

陸・海・空



一、応募資格 十八歳以上、二十五歳未満の日本国籍を有する心身共に健全な男子で、中学校卒業以上の学力のある者。  
二、試験期日および試験場 受付のときお知らせします。  
三、試験科目 筆記試験(国語、数学、社会、作文)・身体検査・口述試験・適性検査  
四、その他 志願書類の請求およびくわしいことを知りたい場合は、役場住民課または、自衛隊愛媛地方連絡部大洲募集事務所(☎089321414123)へどうぞ。

お誕生おめでとう!!

住 所	保護者氏名	続柄	児名
長 生 浜	大山千太郎	長男	(二五)
黒 田 市	堀井 博	長男	(二五)
大 洲 市	堀 幸子	長男	(二五)
沖 浦 浦	浪濱 和正	長男	(二四)
沖 浦 浦	西内 義則	長男	(二五)
下 須 戒	和田 ゆり子	長男	(二六)
内 子 町	篠田 高夫	長男	(二九)
出 海 市	祖母井美佐子	長男	(二九)

愛媛県知事選挙  
投票日は58年1月15日

住 所	氏 名	死亡時年齢
出 海 市	石山 悦弘	三男 慶三
長 生 浜	井上 豊	長女 愛深
白 滝 市	今田 春實	四女 千恵
下 須 戒	中岡 謙治	長男 晋司

編集後記

十一月七日、大洲市で「あすの郷土を開く二十一世紀への選択」と題した大洲・喜多シンポジウム'82が開かれた。脇川流域圏の未来像を探りました。

第一分科会では「農・工・観光業をつなぐ」、第二分科会では「温かな風土と人づくり」をテーマにそれぞれ問題提起がなされ、これからの大洲・喜多地域のあり方や方向などについて学びました。このような中で学習した一人ひとりが、それぞれの地域へ持ち帰り、地域や職場でのミニシンポジウムを開いて、明るい町づくり、地域づくりをしていきたいものです。シンポジウムとは、特定の主題について何人かが異なった意見を述べ、それをもとに討論する形式をいいます。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町  
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	11月1日現在	前月との比較
人 口	12,626人 (男 5,995人 女 6,631人)	22人減 (11人減 11人減)
世帯数	3,869世帯	6世帯減

